

【10/2～4】腰サポーター出荷枚数 NO.1 メーカー・日本シグマックスが 「第 9 回工場設備・備品展」(インテックス大阪)に出展 -ブースでは製品の試着、企業の健康経営に関する相談会も実施-

日本生まれのサポーター専門ブランド「MEDIAID(メディエイド)」を展開する、日本シグマックス株式会社(本社:東京都新宿区、代表取締役社長:鈴木洋輔)は、10月2日(水)からインテックス大阪で開催される「第9回工場設備・備品展[大阪]」に出展いたします。

作業シーンでの身体的負担を軽減する関節サポーター・アシストスーツ製品、暑熱対策製品といった「メディエイド ワーカーズケア」ラインナップの体験展示を実施いたします。

■第9回工場設備・備品展[大阪] 概要 <https://www.manufacturing-world.jp/osaka/ja-jp/about/factex.html>

会 期:2024 年 10 月 2 日(水)～10 月 4 日(金) 10:00～17:00

会 場:インテックス大阪 (当社出展小間番号:17-35)

工場設備・備品展[大阪] は、工場向けの省エネ製品、物流機器、メンテナンス製品、安全用品、防災製品などが出展し、製造業の工場管理、製造、生産技術、保守・メンテナンス、購買、物流部門の方々と活発に商談が行われる展示会です。(公式サイトより引用)



▲過去の実展示会での出展ブース

■労働時の身体アシストの必要性

腰痛は「4 日以上の休業を要する職業疾病」の約 6 割を占める労働災害となっており(※1)、特に重量物を取り扱う製造業、物流業、建築・土木業などでの対策が課題となっています。これら業種では、機械化・自動化が進む一方、人力での作業が残るケースも多く、作業員の高齢化もあり、身体アシストの必要性が高まっています。

また、厚生労働省より発表された「令和 5 年度の労働災害発生状況」では、「休業 4 日以上の死傷者数」のうち、腰痛等の「動作の反動・無理な動作」が原因となっている方は 22,053 人にのぼり、前年比で 1174 人・5.6%増加していることが明らかとなりました(※2)。

昨年 10 月に開催された「第 8 回 工場設備・備品展[大阪]」へ出展し、製造・物流業の関係者など約 300 名の方に当社ブースへ来場いただき、製品を体感いただきました。医療現場で培われた当社のノウハウを詰め込んだ MEDIAID(メディエイド)各製品を通して、多くの方の労働時の身体をアシストするべく、昨年に続き本展示会へ出展する運びとなりました。

※1:厚生労働省「職場のあんぜんサイト」より引用

※2:厚生労働省「令和 5 年労働災害発生状況の分析等」p.25、2024 年 5 月 27 日

■出展製品

・サポーター、アシストスーツ製品 <https://mediaid.sigmax.co.jp/special/workerscare/support-item>

1. メディエイド サポーター 各種

医療メーカーとして半世紀にわたり整形外科向けのサポーター・固定材料・医療機器を製造し、医療機関向けサポーター出荷額※3・腰サポーターメーカー出荷枚数 No.1※4 の日本シグマックスが展開する、生活者向けのサポーター専門ブランド「MEDIAID(メディエイド)」。

医療現場で培ったサポーター開発のノウハウを詰め込み、腰、ヒザ、手首、ヒジなど様々な部位のサポーターを展開しております。

各部位の負担軽減に加えて、動きやすさ、装着時の快適性を追求した素材を採用しています。

※3:(株)日本能率協会総合研究所調べ。2022 年度メーカー出荷額ベース

※4:(株)日本能率協会総合研究所調べ。2022 年度メーカー出荷枚数ベース



<本リリースに関するお問い合わせ先>

日本シグマックス株式会社 経営企画室 広報 緒方・峠

TEL:03-5326-3254 FAX:03-5326-3201 MAIL:kouhou@sigmax.co.jp (広報共有)

2.メディエイド アシストギア 腰ユニット

着用時のかさばりや重さを最大限廃し、体にしっかりフィットしつつ作業中の身体の負担を効率的に軽減。筋肉・関節への負担を軽減するために用いるのは各種の伸縮素材。それらを体の動きに合わせて適切な位置に配置し、なおかつ動作によるずれを防ぐために、当社のサポーター開発で蓄積したノウハウをふんだんに盛り込みました。

動作負担の軽減等を目的として、特に製造・物流・農業・介護業界の現場で導入されています。



3.マッスルスーツ Soft-Power

外骨格型アシストスーツメーカーとして先駆であるイノフィス社と日本シグマックスが共同開発し 2023 年 6 月に発売した「マッスルスーツ Soft-Power」。

人工筋肉のアシスト技術をサポーターの背面部に組み込むことで、腰への負担を 35%軽減します。

持ち上げ・持ち運び作業や前傾姿勢など、腰に負担のかかる作業で効果を発揮します。

また、本体は 430gと軽量で、歩く・しゃがむなど動きの多い作業、長時間の着用にも適しています。



・企業向け腰痛対策サービス <https://mediaid.sigmax.co.jp/special/workerscare/service>

腰専門のコンディショニングスタジオ「SCS (SPINE CONDITIONING STATION)」では、医学専門家が監修したコンディショニングを実施。その SCS で提供するプログラムを企業向けサービスとしてラインナップしております。

プログラムを通して、従業員の身体機能の状態や腰痛の発生原因、その対処法を理解・実践する場を従業員に提供し、職場での労働災害防止に貢献いたします。

※企業向け腰痛対策サービスの実施事例は[こちら](#)から



・メディエイド アイシングギア ベスト <https://mediaid.sigmax.co.jp/special/workerscare/icing-item>

わずか約 60mL の水がパッド内を循環するタンクレス設計による軽量化と、ペルチェ素子を用いて一定温度での冷却を実現した冷却服です。

冷水が流れるパッドは背中から胸部まで走行しており、広範囲の冷却が可能であり、ウェアの素材には伸縮性が高く薄手の素材を採用したことで、軽さと動きやすさを確保しました。



■「MEDIAID (メディエイド)」より展開するワーカーズケア事業 <https://mediaid.sigmax.co.jp/special/workerscare/>

医療現場で培ったノウハウを活かし、誕生したブランド「MEDIAID (メディエイド)」。働く人の身体活動をサポートしたいという想いから、2021 年にメディエイドより、ワーカーズケア事業を立ち上げました。

各関節サポーターやアシストスーツ、暑熱対策アイテムといった製品や、企業向け腰痛対策サービスの実施を通して、労働安全衛生面での課題解決や、従業員の満足度向上、健康経営®のサポートに貢献してまいります。



▲メディエイドより展開するワーカーズケア事業

■日本シグマックス株式会社について <https://www.sigmax.co.jp/>

所在地: 東京都新宿区西新宿 1-24-1

創業: 1973 年 6 月 1 日

資本金: 9,000 万円

代表取締役社長: 鈴木 洋輔

社員数: 241 名 (2024 年 3 月末)

売上高: 127.3 億円 (2024 年 3 月期)



<本リリースに関するお問い合わせ先>

日本シグマックス株式会社 経営企画室 広報 緒方・峠

TEL: 03-5326-3254 FAX: 03-5326-3201 MAIL: kouhou@sigmax.co.jp (広報共有)

日本シグマックスは「身体活動支援業※」を事業ドメインとし、幅広いフィールドで人々の身体に関わる製品・サービスを提供しています。創業以来「医療」の中でも「整形外科分野」に特化して、各種関節用装具やギプスなどの外固定材、リハビリ関連製品、冷却療法のためのアイシングシステム、治療・診断のための医療機器など、特徴のある製品を提供してきました。「スポーツ分野」ではスポーツ向けケア・サポートブランド『ZAMST』を中心に国内外で高い評価を受けております。また日常生活を支える「デイリーケア」、労働者の身体をサポートする「ワーカーズケア」といった分野で『MEDIAID』ブランド製品を拡大展開しております。

※身体活動支援業：運動器障害の予防・診断・治療・回復、及び運動機能維持・向上を目的とした製品・サービスを提供することにより、人々がより健康で快適な生活を送れるよう支援する業（当社による造語）

＜本リリースに関するお問い合わせ先＞

日本シグマックス株式会社 経営企画室 広報 緒方・峠

TEL: 03-5326-3254 FAX: 03-5326-3201 MAIL: kouhou@sigmax.co.jp（広報共有）